

令和6年7月1日現在

「応急対処資材の調査研究部会」活動状況

1 部会の目的

自衛隊が防衛のための各種作戦を国内各地で行うにあたり、戦況に応じて移動運用される装備品やそこに逐次補給される火器や燃料等を侵入者の攻撃から守ることは不可欠であり、また、そこで活動する隊員を守ることも極めて重要である。一方、侵入者の攻撃は、ウクライナの事態における誘導弾、砲弾の曳火射撃及びドローン攻撃等々、多種多様な手段が用いられると想定され、そのため、隊員や装備等を守る防護手段は状況に応じて適宜構築されていくべきであろう。特に離島防衛作戦では、地積が限られているため事前に強固な阻止陣地を建設しておくことを前提にはできない。このため、有事の戦闘現場で臨機に必要とされる防護のため、部隊が実施する迅速な応急対処に活用できる資材等について調査検討を深めておくことが重要である。

防衛施設学会では、学会員の持つ専門知識等を使い、自衛隊が応急対処手段として活用できる資材等について調査検討を行い、もってそれら資材を使用した応急対処構築例を自衛隊に提供し部隊等防護に貢献しようとするものである。

2 研究内容

- 応急対処手段として活用できる資材の調査研究
- 応急対処資材を活用した構築事例の検討

3 活動状況

- (1) 第1回会議：令和5年3月1日：15時～17時 グランドヒル市ヶ谷
 - ア 部会長挨拶・部会員自己紹介
 - イ 自衛隊のニーズについて（自衛隊から提示）
 - ウ 部会の進め方について
- (2) 施設学校研修：令和5年5月31日：10時30分～15時15分 施設学校 陸上自衛隊の築城の概要及び防護すべき車両を実視し、提案作成の資とする
 - ア 1050～1120 概要説明（陸上防衛、陸上自衛隊の築城について）
 - イ 1300～1400 装備品・陣地構築展示等（駐屯地西地区訓練場）
 - ウ 1415～1515 意見交換

(3) 第2回会議：令和5年9月5日(火)：15時～17時 グランドヒル市ヶ谷
部隊意見等を踏まえて精査した第2次提案について、相互に意見交換を行い、
最終案作成の資とする。

ア 部会提示案の紹介等：各社説明

イ その他提案の紹介：事務局説明

ウ 今後の部会運営について

(4) 第3回会議：令和6年3月21日(木)：13時30分～15時 グランドヒル市ヶ谷

ア 部会活動の総括

イ 成果冊子紹介及び冊子配布先の紹介

ウ 成果の普及について：陸自への広報等

エ 今後の活動について

4 成果物の発刊：令和6年3月31日：第1版第1刷 : 1500部

名称：「多様な資材を活用した迅速築城～構築事例集～」

5 広報活動

(1) 成果物「冊子」の配布：自衛隊関係部隊等に配布：約500部

(2) 主要指揮官等への説明：令和6年4月以降、継続的に実施中

(3) 部会参加企業には継続的に情報を発信（問い合わせや受注状況など）

6 事務局より

令和6年7月上旬、施設学校において、提案2件の仮構築（検証）が実施されること
から、会員各社へ継続的に情報提供を行う予定である。

7 問い合わせ先

応急対処資材の調査研究部会 事務局長 冨井 稔

(株)安部日鋼工業 東京本社 事業本部

TEL 03-5906-5621 E-mail: tomii@abe-nikko.co.jp

以上